DYMO®

LabelWriter® 450
LabelWriter® 450 Turbo
LabelWriter® 450 Twin Turbo
LabelWriter® 450 Duo
LabelWriter® 4XL
LabelWriter® SE450

ダウンロード

newell BRANDS

著作権

© 2021 Newell Office Brands. All rights reserved. 最終更新日 3/21。

Newell Office Brands より書面での承諾を事前に得ずに、本書およびソフトウェアをどのような形態に複製し、どのような方法で配布することも、他言語に翻訳することも禁止します。

商標

DYMO および LabelWriter は、米国およびその他の国における登録商標です。その他のすべての商標は、該当する各社が所有しています。

目次

使用上の注意 iii

LabelWriter プリンターについて 1

LabelWriter プリンターの機能 1
システム要件 3
ラベルの印刷 3

ラベルについて 4

ラベルのロード 4
ラベルの注文 6

プリンターのクリーニング 8

困ったときは 10

トラブルシューティング 10
ステータスライト 10
プリンターのセルフテストを行う 11
ラベル詰まりの解消 11
印刷の仕上がりの悪さの修正 11
ラベルが正しく送り出されない 11
印刷できない、または印刷が止まる 12
製品サポート情報 12

技術情報と環境情報 13

技術仕様 13
電源アダプター 13
LabelWriter SE450 プリンターの技術仕様 14
機器の認定 14
環境情報 15

使用上の注意

以下に挙げた注意事項をすべてお読みになり、ご理解ください。製品に記されたすべての警告と指示を守ってください。

全般

- ビニール袋は正しく廃棄し、赤ちゃんや子どもの手の届かない所に置くこと。
- 製品を平らな安定した面に置くこと。
- 製品を必ず本ユーザーガイドの指示通りに使用すること。
- 製品を使用中に異臭、熱、煙、変色や変形の他、不自然なことに気づいたら、電源コードを直ちに抜くこと。
- 製品を分解しないこと。製品の点検、調整、修理は、DYMO カスタマーサポートに問い合わせること。
- 製品の落下、製品への衝撃、不適切な取り扱いは避けること。
- 製品に液体が付かないようにすること。
- 製品をクリーニングする前に必ず電源を切って、電源コードをコンセントから抜くこと。コンセントから抜いておかないと感電や火災の原因となる。
- 異物を製品の中に入れないこと。
- シンナー、ベンゼン、アルコール、その他の有機溶剤を使用して製品をクリーニングしないこと。有機溶剤を用いると表面仕上げを劣化させる可能性がある。柔らかく湿った布で製品をクリーニングすること。

電源

- 本ユーザーガイドに記載していない電源アダプターは使用しないこと。

  LabelWriter 450、450 Turbo、450 Twin Turbo、450 Duo: アダプターモデル DSA-42PFC-24 2 240175（Dee Van Enterprise Co., Ltd. 製）

  LabelWriter 4XL: アダプターモデル DSA-96PFB-24 2 240375（Dee Van Enterprise Co., Ltd. 製）
- 濡れた手で電源コードやアダプターを取り扱わないこと。
- 電源コードを切断・破損・改造したり、上に重い物を置いたりしないこと。
- 電源コードや電源アダプターが破損している場合は使用しないこと。
- 電源コードをコンセントから抜くときは電源コードを引っ張らないこと。引っ張ったりすると感電や火災の原因となる。
- 電源アダプターを狭い場所で使用したり、布で覆ったりしないこと。電源アダプターが過熱しないように十分に換気すること。
- 本機を長期間使用しない場合は電気コードをコンセントから抜くこと。

プリンター

- 製品の部品が移動する場所や開口部に指を入れたりしないこと。
- ラベル排出口に物を置いたり入れたりしてふさがないこと。
- 切り取りバーに触らないこと。触れると負傷するおそれがある。
- 製品を直射日光のあたる場所やヒーターやその他の電化製品の近くに置いたり、極度な高温・低温、高湿度、ホコリの多い場所にも置いたりしないこと。
- カバーをつかんでプリンターを持ったり持ち上げたりしないこと。

ラベル

- DYMO 純正ラベル以外のラベルは使用しないこと。他社のラベルを使用したことで起きた不具合や破損に製品に保証を適用できないため。
- ラベルは、室温の清潔で乾燥した表面に貼付すること。
- ラベルロールを直射日光、高温、高湿度、ホコリなどにさらさないこと。冷暗所に保管すること。

第 1 章

LabelWriter プリンターについて

DYMO LabelWriter ラベルプリンターをお買い上げくださいましてありがとうございます。信頼性の高いラベル印刷に長年にわたってご利用いただけます。お客様にはプリンターの使用方法とクリーニング方法をご確認いただくようお願い申し上げます。

本ユーザーガイドには、以下のモデルに関する情報が掲載しています。

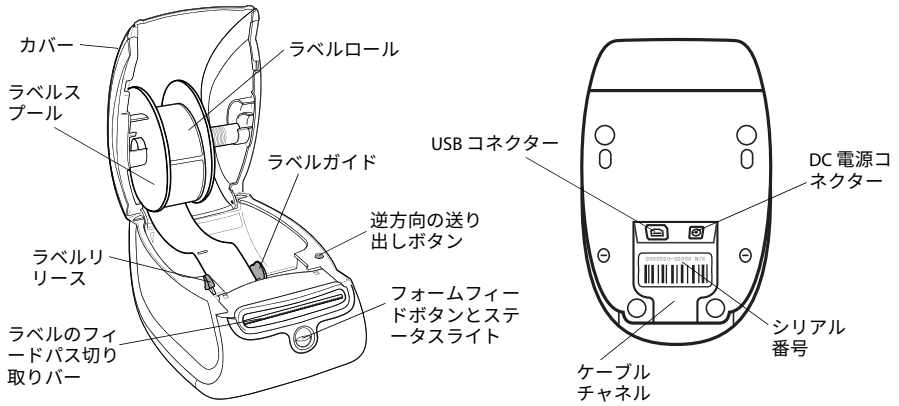
- LabelWriter 450
- LabelWriter 450 Turbo
- LabelWriter 450 Twin Turbo
- LabelWriter 450 Duo
- LabelWriter 4XL
- LabelWriter SE450

LabelWriter SE450 プリンターのプログラミングと使用方法の詳細については、DYMO Web サイト (www.dymo.com) の「開発者プログラム」ページの『*LabelWriter SE450 テクニカル リファレンス ガイド*』を参照してください。

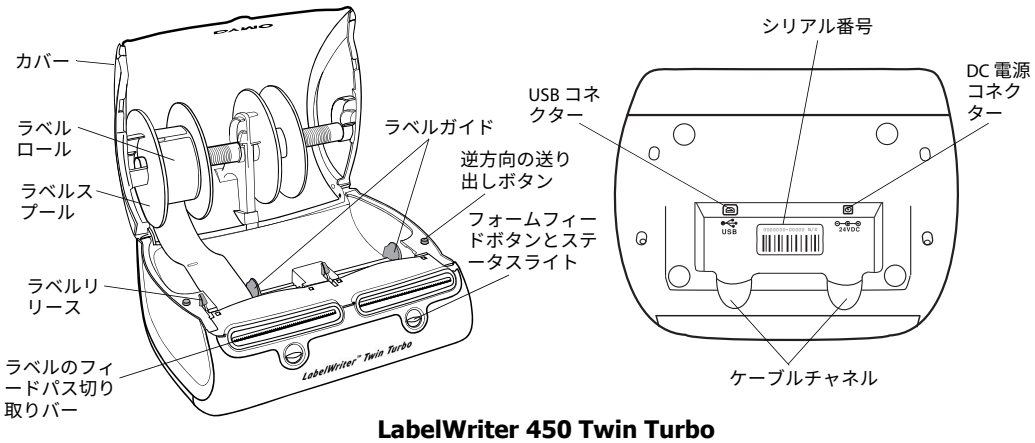
LabelWriter プリンターの機能

このプリンター LabelWriter はダイレクトサーマルプリンターですのでインクもトナーも使いませんが、 その代わりにサーマル印刷ヘッドからの熱を利用して、特殊処理をほどこした感熱ラベルに印刷します。今後ラベル以外のものをご購入になる必要はありません。

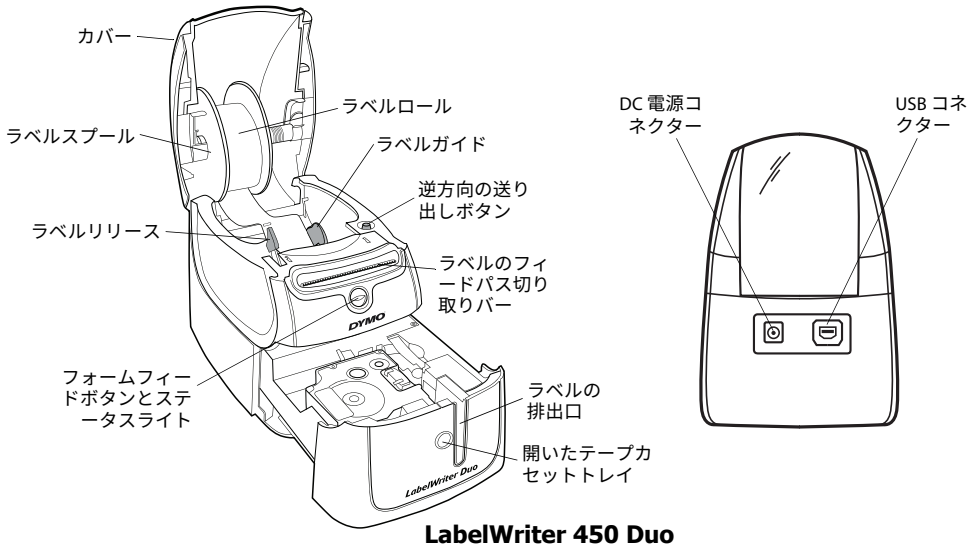
プリンターの主なコンポーネントについてよくご理解ください。



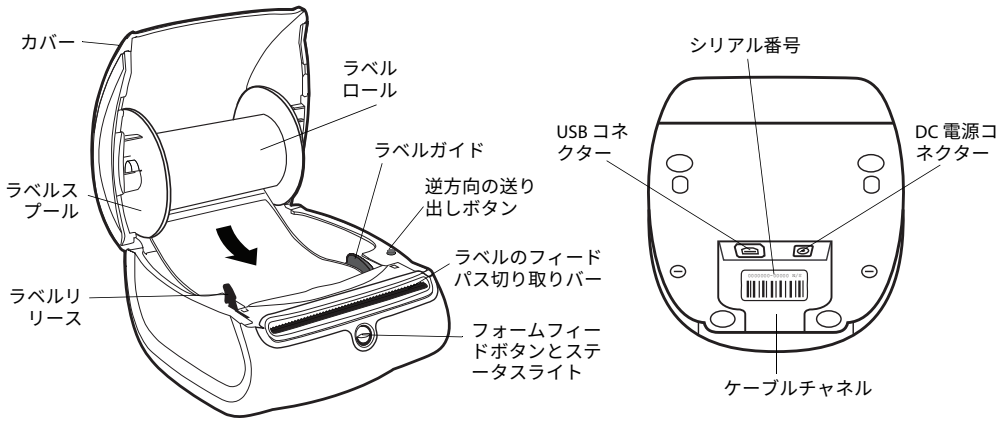
LabelWriter 450
LabelWriter 450 Turbo



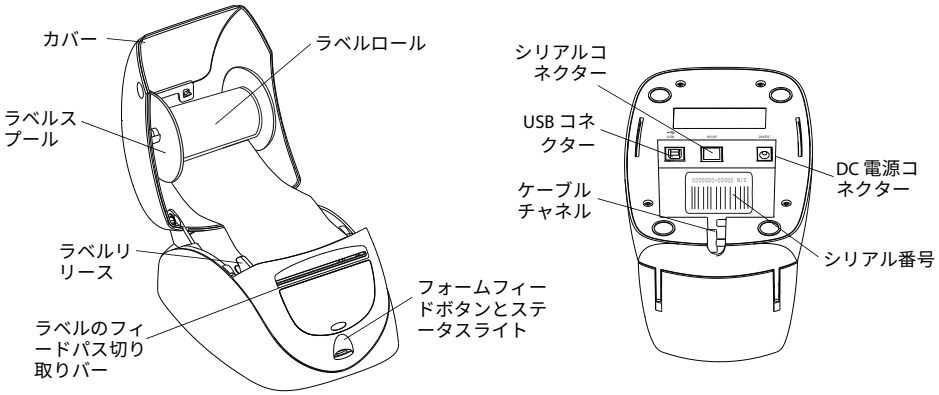
LabelWriter 450 Twin Turbo



LabelWriter 450 Duo



LabelWriter 4XL



LabelWriter SE450

プリンター正面のフォームフィードボタンを押すと、ラベルが1枚送り出されます。ロールの交換時には逆方向のラベルボタンを押して、ラベルをプリンターから取り出します。LabelWriter SE450 プリンターには逆方向のラベルボタンはありません。

ステータスライトはプリンターの現在の状態を示します。ステータスライトの詳細については、10 ページの「ステータスライト」を参照してください。

システム要件

LabelWriter プリンターには、USB 1.1 または USB 2.0 接続と以下のいずれかが必要です。

- Windows® 8.1 以降
- Mac OS® v10.4 以降

LabelWriter SE450 プリンターをシリアル接続で使用するには、RS-232 シリアルポートが必要です。

ラベルの印刷

DYMO Connect ソフトウェアを使用すると、ラベルのデザインと印刷が簡単にできます。これらの機能の詳細については、DYMO Connect のオンラインヘルプまたは『ソフトウェアユーザーガイド』を参照してください。

support.dymo.com から DYMO デスクトップラベル作成ソフトウェアをダウンロードしてください。

第 2 章
ラベルについて

DYMO LabelWriter プリンターは、高度な*サーマル方式*の印刷技術を利用して、特別処理した感熱ラベルに印刷します。つまり、ラベルを印刷するときに、トナーやインク カートリッジ、リボンを交換する必要がありません。

注 他社のラベルを使用したことで生じる不具合または破損に関して、当社は保証いたしません。DYMO LabelWriter のプリンターはサーマル印刷技術を用いているため、特別にデザイン・製造した専用ラベルを使用する必要があります。他社のラベルに使用している保護コーティングとは互換性がなく、印刷時に不具合が生じたり、プリンターの故障の原因になったりする場合があります。

ラベルの寿命は、ラベルをどう使用するかによって決まります。LabelWriter プリンターで印刷した感熱ラベルが以下のあげた状況になると、印字が消えてしまう可能性があります。

- 長期間にわたり直射日光や蛍光灯、高温にさらす
- 可塑剤に接触（プラスチック製のリング バインダーの上にラベルを置くなど）する

LabelWriter ラベルが入っていた箱に入れた状態なら、寿命は 18 か月です。ラベルを短期間しか使用しないのであれば（封筒やパッケージなど）、印字が消えてしまっても問題はありません。ファイル キャビネットに保管するファイルのラベル付けに使用する場合は、長い年月をかけて少しずつ印字が消えていきます。ノートの隅に貼ったラベルを日が当たる棚の上に置いておくと、数か月以内に消えていく兆しが見られます。

未使用のラベルの寿命を長持ちさせるには、ラベルが入っていた黒い袋に入れて、低温の乾燥した場所で保管してください。

ラベルのロード

各ラベルロールは、黒いプラスチック製の袋に入っています。ラベルを使用しない場合は、ラベルロールをこの袋に入れて必ず保管してください。

LabelWriter Twin Turbo プリンターには 2 つのラベルロールをセットできるため、ラベルロールを取り換えずに 2 種類のラベルを印刷できます。

LabelWriter Duo プリンターには、 型抜き紙ラベル（住所や配送用のラベルなど）と D1 プラスチック カセットという 2 種類のラベルを使用します。

重要！

印刷中にラベルを正しくフィードできるようにするには、ラベルをスプールにロードしてプリンターに送信するときに、以下の点に注意してください。

- ラベルスプールガイドをラベルロールにしっかりと押しつけて隙間を作らないこと。図 2 を参照してください。
- ラベルの左端がラベルフィードスロットの左側に当たるようにラベルを挿入すること。図 4 を参照してください。

このセクションの図 3 および図 4 には、LabelWriter 450 プリンターにラベルをロードする方法を示していますが、 どの LabelWriter プリンターでもこの方法は共通しています。

ラベルロールをロードするには

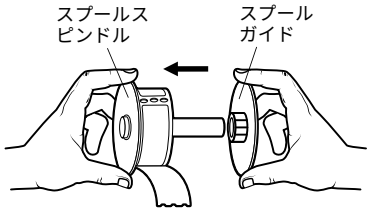


図 1

1 プリンターを差し込んだ状態でフォームフィードボタンを押して、輸送時にプリンターを保護していたラベルを取り出します。

2 上のカバーを開き、本機の中に入っている梱包材をすべて取り出します。

3 カバー内側からラベルスプールを取り出し、スプールガイドとスピンドルを切り離します。

4 スプールスピンドルを左手に持ち、ラベルを下から供給して、ラベルロールの左端がスプール側にしっかり当たるように、ラベルロールをスピンドルの上に配置します。図 1 を参照してください。

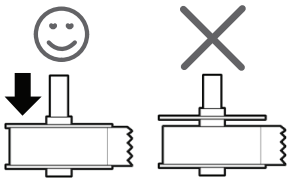


図 2

5 スプールガイドをスプールの右側にスライドさせ、ラベルロール側にしっかりと当て、ラベルロールとスプールの間に**隙間が生じない**ようにします。図 2 を参照してください。

注 印刷中にラベルを正しく送り込むようにするには、ラベルロールをラベルスプールの両側にぴったり合わせて、隙間が生じないようにする必要があります。

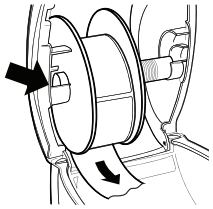


図 3

6 ラベルスプールをプリンターのカバー内のスロットに挿入します。このとき、ラベルはロールの下から伸びています。図 3 を参照してください。

7 ラベルの左端をラベルフィードスロットの左端に合わせ、ラベルをスロットに挿入します。図 4 を参照してください。

ラベルは自動的に送り込まれ、1 枚目のラベルの開始点で停止します。

ラベルが送り込まれない場合は、1 枚目のラベルを奥まで挿入していることを確認し、フォームフィードボタンを押します。

ロールの 1 枚目のラベルが不完全な状態になっていたらフォームフィードボタンを押して、そのラベルを取り出します。

注 テープ幅に関係なく、ラベルを正しく送り込めるように、ラベルの左端をラベルフィードスロットの左端に合わせます。

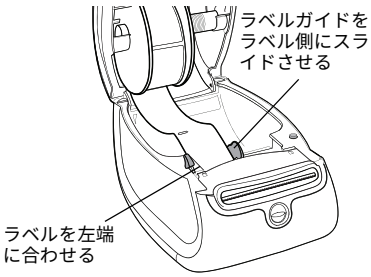


図 4

8 ラベルガイドがラベルの右端に合うまで、ラベルガイドを左にスライドさせます。図 4 を参照してください。

ラベルガイドにラベルが挟まっていないことを確認します。

9 **（Twin Turbo のみ）**3 ～ 8 の手順を繰り返して、2 番目のラベルロールをロードします。

10 上のカバーをゆっくり下げます。

テープカセットをロードするには (LabelWriter Duo)

1 プリンターの正面のボタンを押して、テープカセットのトレイを開きます。

注 プリンターを初めて使用するときは、保護用の厚紙インサートをラベル出口スロットから取り外します。図 5 を参照してください。

2 テープとリボンにたるみが無く、テープがラベル出口を通っていることを確認します。

リボンがたるんでいたら、スプールをカセット表面に表示されている矢印方向に回します。

3 カチッと音がするまでカセットを強く押し込みます。ラベルとリボンを正しく配置していることを確認します。図 6 を参照してください。

4 プリンターの正面のボタンを押して、テープカセットのトレイを閉じます。

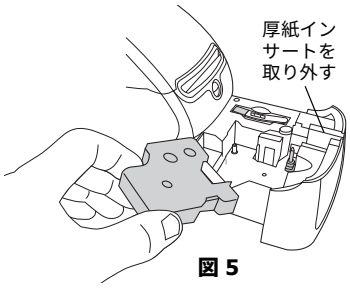


図 5

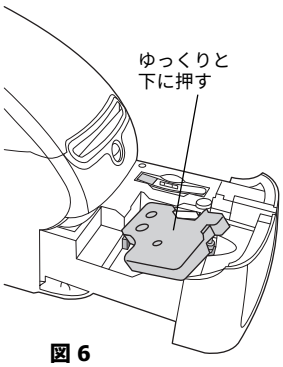


図 6

ラベルの注文

当社では LabelWriter プリンター用に多種多様なラベルが用意しています。たとえば、封筒に住所を書く、パッケージを配送する、ファイル フォルダーに名称を付ける、さまざまな種類のメディアにラベルを貼る、名札を印刷するといったように、いろいろな用途に適したラベルがあります。全製品を記載したリストをご覧になる場合は、DYMO Web サイト (www.dymo.com) を参照してください。

注 他社のラベルを使用したことで生じる不具合または破損に関して、当社は保証いたしません。DYMO LabelWriter のプリンターはサーマル印刷技術を用いているため、特別にデザイン・製造した専用ラベルを使用する必要があります。他社のラベルに使用している保護コーティングとは互換性がなく、印刷時に不具合が生じたり、プリンターの故障の原因になったりする場合があります。

このページは両面印刷用に意図的に空白のままになっています。

第 3 章
プリンターのクリーニング

LabelWriter プリンターは、長期間故障なく使用できるよう設計しているので、メンテナンスはほぼ必要ありません。『*クイックスタートガイド*』とこのセクションで説明する手順に表示される方法どおりに設定すると、LabelWriter プリンターの機能をフルに活用できるようになります。

LabelWriter プリンターをいつも正常な状態で使用できるように、定期的にクリーニングを実行することをおすすめします。プリンターの内部に異物が入らないように、プリンターの外側のホコリを定期的に除去します。ただし、ラベルが通過するエリアをクリーニングカードで掃除するなど、簡単な内部のメンテナンスは定期的に行ったほうがよいでしょう。

LaberWriter プリンターは、次のアイテムを使用して簡単に掃除できます。

- 糸くずが出ない布
- イソプロピルアルコールや、食器用洗剤やガラスクリーナーを薄めたもの

  注 ガラスクリーナーを使用する場合は、アルコールを配合した製品でないことを確認してください。
- 歯ブラシや子ども用の絵筆など、小さくて柔らかいブラシ
- LabelWriter クリーニングカード。

  クリーニングカードを購入する場合は、www.dymo.com をご覧ください。

プリンターの外部とラベルロールの内部をクリーニングする

1. 電源コードを抜きます。
2. 糸くずが出ない布でプリンターの外部を拭き取ります。
3. 上記のいずれかの洗浄液を使用してホコリや汚れを除去します。
4. 上のカバーを開きます。
5. 小さくて柔らかいブラシまたは綿棒で、紙から出るちりやその他ののくずなどをプリンターの内部から除去します。
6. ラベルロールを取り出して、ロールの下を掃除します。
7. 電源コードをもう一度差し込みます。
8. LabelWriter クリーニングカードを持っている場合は、クリーニングカードのパッケージの表示どおりに掃除してください。
9. ラベルロールをもう一度ロードして、上のカバーをゆっくり閉じます。

テープの印刷ヘッドをクリーニングする（LabelWriter Duo のみ）

1. テープカセットのトレイの正面のボタンを押します。
2. テープカセットを取り出します。
3. 小さくて柔らかいブラシまたは綿棒で、紙から出るちりやその他ののくずなどをプリンターの内部から除去します。
4. トレイの内側からクリーニングツールを取り出します。
   クリーニングツールを持っていない場合は、DYMO カスタマーケアまでお問い合わせください。
5. クリーニングツールで印刷ヘッドを丁寧に拭き取ります。

   印刷ヘッドは非常にデリケートな部品なので、クリーニングは慎重に行ってください。
6. クリーニングツールを取り替え、テープカセットをセットし、ボタンを押してトレイを閉じます。

カッターの刃をクリーニングする（LaberWriter Duo のみ）

1. テープカセットのトレイの正面のボタンを押します。
2. テープカセットを取り出します。
3. [フォームフィード] ボタンと [ラベルのイジェクト] ボタンを同時に押します。

   カッターの刃が見えてきます。
4. 綿棒とアルコールで刃の両サイドをクリーニングします。

   テープカッターの刃は非常に鋭くなっています。クリーニングするときは注意してください。
5. カッターの刃をクリーニングした後、[ラベルのイジェクト] ボタンをもう一度押すと、元の位置に戻ります。

カッターの刃が前方で詰まって動かなくなった場合も、このようにしてください。

第 4 章
困ったときは

LabelWriter プリンターは、長年故障なく使用できるように設計されているのでメンテナンスはほぼ必要ないはずですが、 問題が発生する場合もあります。この章では、プリンターの使用中に起こりうる問題の解決策をまとめています。問題を解決できない場合は、DYMO テクニカルサポートへのお問い合わせ方法も掲載しています。

LabelWriter SE450 プリンターのプログラミングと使用方法の詳細については、DYMO Web サイト (www.dymo.com) の「開発者プログラム」ページの『*LabelWriter SE450 テクニカル リファレンス ガイド*』を参照してください。

トラブルシューティング

このセクションでは、LabelWriter プリンターの使用中に発生する可能性がある問題の検出方法と修正方法について説明しています。

ステータスライト

ステータスライトの色でプリンターの現在の状態が分かるようになっています。

ステータスライト	説明
青で点灯	電源が入っており、プリンターで印刷する準備ができています。
薄い青	プリンターは節電モードです。
青で点滅	ラベルが正しくロードされていないか、ラベルロールが空です。

LabelWriter SE450 のステータスライトは次のようになっています。

SE450 のステータスライト	説明
青で点灯	USB ケーブルが接続されています。電源が入っており、プリンターで印刷する準備ができています。
薄い青	USB ケーブルが接続されており、プリンターは節電モードです。
赤で点滅	ラベルが正しくロードされていないか、ラベルロールが空です。
緑で点灯	シリアルケーブルが接続されています。電源が入っており、プリンターで印刷する準備ができています。USB ケーブルとシリアルケーブルの両方を接続している場合も、接続しているケーブルが一つもない場合も、緑で点灯します。
薄い緑	シリアルケーブルが接続されており、プリンターは節電モードです。
緑で点滅	シリアルケーブルが接続されており、プリンターは構成モードです。LabelWriter SE450 プリンターのプログラミングと使用方法の詳細については、DYMO Web サイト (www.dymo.com) の「開発者プログラム」ページの『*LabelWriter SE450 テクニカル リファレンス ガイド*』を参照してください。

プリンターのセルフテストを行う

印刷時に文字化けやその他の印刷の問題が発生した場合は、プリンターのセルフテストを行ってください。セルフテストによって、印刷ヘッドのすべての要素と印刷のメカニズムの動作状態が良好であるかを確認します。

セルフテストを行う

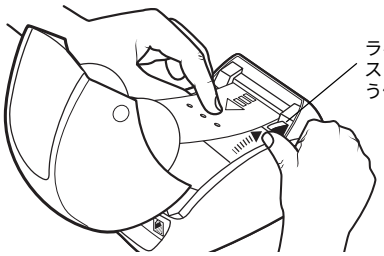
1. プリンターにラベルロールをセットした状態で、プリンターの正面のフォームフィードボタンを 5 ～ 10 秒長押しします。

   プリンターの幅に沿って縦線が印刷され始めます。テストパターンは、19 mm ごとに自動変更します。
2. セルフテストが始まったら、フォームフィードボタンを放します。
3. セルフテストを停止するには、フォームフィードボタンを押し戻します。

ラベル詰まりの解消

プリンターに詰まったラベルを取り除く

1. プリンターに送り出されたラベルがあればすべてちぎります。
2. ラベルのリリースレバーを向こう側に押して、詰まったラベルをラベルフィードスロットから引き出します。



印刷の仕上がりの悪さの修正

以下のいずれかがひとつでも当てはまるとうまく印刷できなくなります。

- ラベルロールが古くなっている
- DYMO 以外のメーカーのラベルを使用している
- ラベルのサーマルコーティングが劣化している
- 印刷ヘッドが汚れている

まず、DYMO 純正ラベルを使用していることを確認します。他社のラベルの保護コーティングは純正のものとは感度が異なるので、使用しないでください。また、LabelWriter プリンターが、他社のラベルの間に入った点状の切り込みを検出しないことがよくあります。

印刷が薄い、白い小さな点が印刷文字に散らばっている、薄い斑点や黒ずんだ斑点が現れたら、欠陥のあるラベルロールを使用している可能性が高いです。新しい箱に入っている別のロールを試してください。そのロールで正しく印刷できたら、最初のラベルロールに問題があることになります。

また、LabelWriter の印刷ヘッドが汚れていることも考えられます。LabelWriter のクリーニングカードでラベルが通過するエリアをクリーニングする方法については、8 ページの「プリンターのクリーニング」を参照してください。

ラベルが正しく送り出されない

ラベルが正しく送り出されない場合は、以下のことを確認します。

- ラベルを正しくロードしていて、ラベルの左端がラベルフィードスロットの左端に合っていることを確認します。4 ページの「ラベルのロード」を参照してください。
- DYMO 純正ラベルを使用していることを確認します。他社のラベル間に入っている点状の切れ込みは、DYMO プリンターでは検出できないことがよくあります。切り込みを検出できないと、ラベルは正しく送り出されません。他社のラベルを使用すると、保証が無効になる場合もあります。

印刷できない、または印刷が止まる

プリンターで印刷できなかったり、印刷が止まったりした場合は、以下の手順に従って問題を突き止めます。

1. プリンターに電源が入っており、電源ケーブルが抜けていないことを確認します。

   プリンター正面のステータスライトが点灯していない場合、電源コードをコンセントに差し込んでいて、電源タップに問題のないことを確認します。

   コンセントと電源タップに問題がないことを確認するために、何か他のものをコンセントや電源タップに差し込んでみてください。

2. プリンターの電源を入れた状態でフォールフィードボタンを押して、ラベルを正しく送り出せていることを確認します。

   ラベルが詰まると、ステータスライトが点滅します。11 ページの「ラベル詰まりの解消」を参照してください。

3. USB ケーブルがプリンターの背面やコンピューターのポートにきっちり差しこんであるか確認します。

   『*クイックスタートガイド*』のインストール手順を参照し、ケーブルを正しく接続していることを確認します。

4. (Windows) LabelWriter のプリンタードライバーが正しくインストールされているか確認します。

   LabelWriter プリンターは、ソフトウェアから印刷データを取得し、そのデータを LabelWriter プリンターに送ります。プリンターに付属のソフトウェアをインストールするときにドライバーも自動的にインストールされます。ただし、ドライバーを誤って変更または削除している可能性もあります。

   a. **スタート** メニューから**プリンターと FAX** を選択します。
   b. [LabelWriter プリンター] アイコンを右クリックして、**プロパティ**を選択します。
   c. **プロパティ**ダイアログボックスから**印刷設定**をクリックします。
   d. **設定**ダイアログボックスから**詳細**をクリックします。

      [詳細] ダイアログボックスが表示されます。

   [詳細] ダイアログボックスにエラーが表示されていなければ、プリンタードライバーは正しくインストールされています。

上記をすべて確認した後でも問題が解決しない場合は、カスタマーサービスに問い合わせて、返品の許可 (RA) の手続きを行ってください。12 ページの「製品サポート情報」を参照してください。

製品サポート情報

プリンターを設定または使用するときに問題が発生した場合は、本ユーザーガイドをよく読み、見落としがないか確認します。

本ユーザーガイドを見ても問題を解決できない場合は、DYMO から追加情報とヘルプを入手してください。

DYMO の Web サイト (www.dymo.com) には、LabelWriter プリンターに関する最新サポート情報を掲載しています。

お問い合わせに関しては、弊社の Web サイト (www.dymo.com) のサポートエリアをご覧ください。

第 5 章
技術情報と環境情報

本章には、LabelWriter プリンターの技術情報および認定情報を記載しています。

技術仕様

	450	450 Turbo	450 Twin Turbo	4XL	450 Duo（ラベルプリンター）	450 Duo（テーププリンター）
印刷方法	ダイレクトサーマル					熱転写
印刷解像度	300dpi（11.8 ドット /mm）					180dpi（7.09 ドット/mm）
印刷速度（テキストモードでアドレスラベルを印刷する場合の 1 分当たり印刷枚数）	51	71	71	53	71	該当なし
最大印刷幅	56 mm			105.73 mm	56 mm	18.1 mm
最大メディア幅	62 mm			115 mm	62 mm	24 mm
最大テープ幅	ユーザー定義可能					
インターフェイス	USB 2.0 プリンタークラスドライブ					
寸法（幅／高さ／奥行）	124 mm x 146 mm x 184 mm		217 mm x 135 mm x 187.5 mm	178 mm x 135 mm x 187 mm	140 mm x 203 mm x 184 mm	
重量	0.68 kg		1.09 kg	0.78 kg	1.35 kg	
プリンター電源の要件	24 VDC 1.75 A			24 VDC 3.75 A	24 VDC 1.75 A	
基準負荷サイクル	1 時間につき送付先ラベル 1000 枚					
規制当局の承認	CE、FCC、TUV CB、cTUVus、TUV GS、C-Tick					
保証	2 年限定保証					

電源アダプター

本ガイドに記載していない電源アダプターを使用しないでください。

- **LabelWriter 450、450 Turbo、450 Twin Turbo、450 Duo:** 電源アダプターモデル DSA-42PFC-24 2 240175（Dee Van Enterprise Co., Ltd. 製）
- **LabelWriter 4XL:** 電源アダプターモデル DSA-96PFB-24 2 240375（Dee Van Enterprise Co., Ltd. 製）

LabelWriter SE450 プリンターの技術仕様

LabelWriter SE450 プリンターをホストコンピューターまたはその他のデバイスに接続する方法、および LabelWriter SE450 プリンターのプログラミングと使用方法の詳細については、DYMO Web サイト (www.dymo.com) の「開発者プログラム」ページの『*LabelWriter SE450 テクニカル リファレンス ガイド*』を参照してください。

	SE450
印刷方法	ダイレクトサーマル
印刷解像度	200dpi（8 ドット /mm）
印刷速度（テキストモードでアドレスラベルを印刷する場合の 1 分当たり印刷枚数）	USB: 48 lpm シリアル（115.2K ボーレート）：40 lpm
最大印刷幅	54 mm
最大メディア幅	62 mm
最大テープ幅	ユーザーによる変更が可能
インターフェイス	USB 2.0 プリンタークラスドライブ 双方向、RS232 シリアル（1200 ～ 115.2K ボーレート）
寸法（幅／高さ／奥行）	124 mm x 146 mm x 187 mm
重量	0.817 kg
プリンター電源の要件	24 VDC 1.7 A
基準負荷サイクル	1 時間につき送付先ラベル 1000 枚
規制当局の承認	CE、FCC、Industry Canada、TUV CB、cTUVus、TUV GS、C-Tick
保証	1 年限定保証

機器の認定

本機器は、以下の要件に適合していることが試験により確認されています。

TUV CB 証明書

cTUVus 証明書

TUV GS 証明書

情報技術機器の安全性に関する国際規格 IEC 60950

FCC Part 15 クラス B

RoHS 2002/95/EC

本機器は、視覚表示装置を備える職場での使用を意図したものではありません。視覚表示装置を備える職場での反射を避けるため、この機器を直接視界に入る場所には設置しないでください。

環境情報

ご購入になった製品の製造に使用した天然資源の回収と使用が必要になります。健康と環境に有害な物質を含んでいる場合があります。

それらの物質が自然界に飛散してしまうことを防ぎ、天然資源の使用を削減するためも、適切なリサイクル方法を利用するようお願いしています。

そのようなシステムを利用することで、使用しなくなった機器のほとんどの素材が正しい方法で再利用、リサイクルできるようになります。

バツ印の付いたキャスター付ゴミ箱マークがそのようなシステムのシンボルです。

回収、再利用、リサイクルシステムに関する詳細については、お住まいの自治体の相談窓口までお問い合わせください。

弊社製品の環境パフォーマンスに関する詳細については、DYMO までお問い合わせください。